

「こども・若者みらい計画」に向けた

みんなの

声



京丹波町 子育て支援課

京丹波町は、「京丹波町こども・若者みらい計画」という京丹波町のこどもや若者、子育てをしている人をみんなで応援していくための計画を作りました。

この計画では、将来像として「こどもの声がきこえるまち」を掲げています。計画を作るためにいただいた、たくさんの“声”の一部を紹介します。

意見聴取方法の概要

| 調査名 | | 対象 |
|-----------------------------|-------------|-------------------------|
| 京丹波 こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査 | 小学生アンケート | (小学生) 町内の小学生(4~6年生) |
| | 中学生アンケート | (中学生) 町内の中学生(1~3年生) |
| | 小学生保護者アンケート | (保護者) 町内の小学生(4~6年生)の保護者 |
| | 中学生保護者アンケート | (保護者) 町内の中学生(1~3年生)の保護者 |
| | 若者アンケート | (若者) 町内在住の高校生世代~34歳 |
| 若者追加調査 | (若者) | |
| 団体ヒアリング(対面・書面) | (団体) | 関係団体 |
| こどもグループワーク | (小学生) | のびのび児童クラブに通うこども |



いただいた意見について、計画の「めざす姿」ごとに「意見内容」「意見への対応・反映」についてまとめました。

計画書は
こちらから



京丹波町ホームページ

こどもの声が“ひびく”まち - こども・若者の成長に対する切れ目ない支援 -

主な意見内容（概要）

意見への対応・反映

医療について

子どもが病気になった時に、すぐに行ける病院がほしい。（保護者）

子どもは急に体調を崩す。安心して診てもらえるところがあると助かる。（保護者）

小児医療で、他の地域まで行かないといけないときがあるのが不便。（保護者）

医療の充実や体制強化を求める声が挙がっています。京丹波町内、そして広域での医療体制の充実に向けて、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】妊娠期から継続した母子保健事業と医療体制の充実

計画書 8 ページ

- ・ 親子の健康確保・増進のために、妊娠期から継続した保健指導と健診内容の充実を図り、発達相談や療育の場に適切につなぎます。未受診家庭へのフォローも行います。
- ・ こどもの健康管理や疾病予防のために身近なかかりつけ医をもつよう働きかけるとともに、京都中部総合医療センターと連携を図り、24時間の小児救急医療体制の確保に努めます。

居場所・遊び場について

以前より町内の「居場所」が少なくなった。（団体）

遊べる場所が全然ない。こどもが楽しめる場所・施設を作してほしい。（中学生）

気軽に集まれる場所が必要。自分の味方だと思える存在がいることが大事。（若者）

こどもの居場所に関する事業を実施する方には何らかの支援がなされると良い。（保護者）

こども・若者の居場所づくりの推進に向けた声が挙げられました。こども・若者がほっと落ち着ける、気軽に集える、楽しく過ごせる場所づくりに向けて、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】こどもの発達に応じた切れ目のない支援と居場所づくり

計画書 8 ページ

- ・ こども・若者の声を聴き、一緒に居場所について考えるとともに、さまざまな担い手が居場所に関する取組を行う際は、支援を行います。

発達に応じた支援・交流について

小学校の入学につながる様な切れ目のない保育・教育が必要。（保護者）

大会など、他校との交流ができれば楽しい。（中学生）

学校間の交流・連携を推進する必要がある。（団体）

教育や保育の連携性や、町内の機関における交流・連携の強化を求める声が挙げられています。京丹波町の良さを生かしたきめ細やかな支援の推進に向けて、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】こどもの発達に応じた切れ目のない支援と居場所づくり

計画書8ページ

- ・ 幼児期にこどもの豊かな感性や基本的な生活習慣をはぐくめるよう、幼児教育の充実を図るとともに、こども園及び小・中学校と地域との連携をより一層強化します。
- ・ 少人数教育を通じて一人ひとりに応じたきめ細やかな教育を推進します。こどもの思考力・判断力・表現力をはぐくむため、地域をフィールドとした課題解決型の探究的な学びや体験学習を推進します。

望むライフデザインへの支援について

行くところの選択肢、体験の機会が少ない。単発の仕事経験など、職業観をつくるステップが必要。（団体）

地域に根差した出会いの場があると良い。また経済的なゆとりも必要。（若者）

町内で仕事に就くための支援が必要。（若者）

就労支援や結婚支援といった、望むライフデザインを実現するための支援に関する声が挙げられました。若者支援のライフデザインへの支援に向けて、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】望めば就職・結婚できる環境づくりとライフデザイン教育

計画書9ページ

- ・ 未来の担い手であるこどもたちが結婚や出産に対する知識を得られるよう、ライフデザイン教育を実施します。また、婚活イベントによる出会いの場の提供や新婚世帯への経済的負担軽減などの支援を実施します。
- ・ 若者へのさまざまな就労支援を通じて夢の実現や経済的・社会的自立を後押しするとともに、地域経済の担い手の確保に努めます。

体験・経験について

コロナ禍を経て人間関係を構築する力が弱くなっている。（団体）

地域の四季を感じられるイベントなどがあるといい。（若者）

お祭りやイベント、行事が少ない。（小学生）

体験や経験機会の創出や、地域との関わり、地域でのイベント・行事を求める声が挙げられました。子どもたちが京丹波町においてたくさんの経験を経て、心豊かに育っていけるよう、子ども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】地域の人々や魅力を生かした体験・学びの場づくり

計画書9ページ

- ・ 食や自然、伝統文化など京丹波町の豊かな地域資源を生かした体験型学習を推進することで、子どもたちが自分たちのまちの魅力に気づき、ふるさとへの愛着がもてるようにします。
- ・ こども園や学校の子どもたちが、地域の農家や事業所、お年寄りなどさまざまな人とふれあうことで、地域とのつながりやかかわり合いに対する意識の高揚を図ります。

こどもの声が“とどく”まち - 子ども・若者の権利を守り、意見を生かすための支援-

意見表明と反映について

意見を話す機会がもっとほしい。もっとたくさんの人の意見を聞くことが大切だと思う。（小学生）

忙しい若者世代も気軽に・簡単に意見を要望できる環境を求めます。（若者）

意見の言いにくい人、集団に参加することが難しい人も含めて、だれもが意見表明できる仕組みとその告知が必要。（団体）

子ども・若者、子育て世代本人の意見を聞き、反映することを求める声が挙げられています。意見表明の場づくりや本資料も含めたフィードバックの機会づくりを進めるため、子ども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】子ども・若者の権利を守り、意見が生きるまちづくり

計画書12ページ

- ・ 子どもの権利条約やこども大綱、こども基本法に基づき、子ども・若者を権利の主体として、将来にわたって最善の利益を追求していくとともに、住民の皆さんにも周知を図ります。
- ・ 子ども・若者の声をまちづくりに生かすために、意見を表明できる場や機会をつくり、わかりやすい形でフィードバックすることで、一緒にまちづくりをするという意識を醸成します。

貧困への対応について

子育てにかかる経済的負担が大きい。将来が不安です。（保護者）

経済面で進学や夢を諦めてしまう子どもたちがいないようにしてほしい。（若者）

経済的に困窮している家庭・貧困家庭への支援が必要。（団体）

経済面に関する困りごとの意見が挙がっています。困窮・貧困家庭への支援を行い、子どもたちの未来を支援していけるよう、子ども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】貧困の連鎖を断ち切るための教育や就労支援

計画書12ページ

- ・ 子どもの貧困は、権利や利益を侵害するとともに社会的孤立にもつながります。貧困の連鎖を断ち切り、子どもが夢や希望をもてるよう、教育や生活面での継続的な支援を進めます。
- ・ 貧困の状況にある子育て当事者が社会的孤立に陥ることのないよう、妊娠・出産期からの相談支援の充実や居場所づくり、就労支援など、生活の安定に資するための施策を推進します。

さまざまな背景・困難への対応について

困っているときに、困っていると相談できる場所がほしい。話しやすい方法で話せるようにしてほしい。（小学生）

いじめや嫌がらせがなく、だれもが楽しく過ごせるために、相談しやすい雰囲気を作ることが大切だと思う。（中学生）

困っている家庭へ支援の手を差し伸べて、子どもが不自由なく過ごせるようにしてほしい。（保護者）

複合的な課題を抱える家庭もある。支援内容を知らない家庭へは通知・周知も必要。（団体）

支援する際に、専門分野が分断せずに手を取り合う連携体制が必要。（団体）

地域における多様な課題に関する意見が挙がっています。すべての方に支援が届くよう、子ども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】さまざまな背景のある子ども・若者に寄り添った支援

計画書13ページ

- ・ さまざまな特性や背景のある子ども・若者の権利を守り、その力を最大限に発揮できるよう、相談体制を整え、必要に応じて適切な支援につなげます。
- ・ ひとり親家庭をはじめ、外国人や障害のある子どもや親など、見守りや支援を必要としている家庭が、地域の中で安心して楽しく暮らしていけるよう、関係機関などによる連携を図りながら支援体制を構築していきます。

【施策】困難な状況にある子ども・若者の早期発見と対応

計画書13ページ

- ・ 虐待やいじめ、不登校、ヤングケアラーなど、困難な状況にある子どもを早期に把握し、関係機関が連携を図りながら支援体制を構築します。
- ・ 虐待の未然防止の観点から、早期発見・早期対応、再発防止、社会的自立までの切れ目のない取組を地域全体で推進します。

主な意見内容（概要）

意見への対応・反映

子育ての負担軽減について

こどもに向き合う時間と場所の余裕が必要。
（保護者）

子育てに不安を抱える保護者への支援・サポートが必要。周囲が気づける環境を。（団体）

保護者が生活に精一杯で、余裕をもってこどもとかかわれていない状況がある。（団体）

子育て家庭への支援・サポートの必要性、保護者が求める支援や負担軽減に向けた取組に関する声が挙げられています。保護者がゆとりをもって子育てできるように、地域や支援機関による町全体での支援に取り組んでいくため、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】子育ての負担軽減、子育てが楽しいと思える支援の充実

計画書18ページ

- すべてのこどもと子育て家庭に対し、質の高い幼児期の教育・保育及び地域の子育て支援を総合的に提供します。
- 地域の中で安心して子育てできる環境づくりと総合的な子育て支援の推進をめざし、関係機関や関係団体などとの連携強化により、相互の協力による子育て支援ネットワークの構築に努めます。

公共施設や環境の整備について

学校をきれいにしてほしい。（中学生）

子育て世帯が住みやすいまち・子育てしたくなるまちになってほしい。（若者）

遊ぶスポットの情報が、子育て世代・子育て家庭にアピールできていない。（団体）

公共施設や環境整備をはじめとした、子育てしやすいまちづくり・こども・子育て世代にやさしいまちづくりを求める声が挙げられています。道路や公共施設の整備を進めるとともに、関連する情報発信を行い、多くの方に知っていただけるよう取り組むため、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】こども・子育て世代にやさしい公共施設や環境の整備

計画書18ページ

- 妊産婦やこども連れの方などが安心して外出できるように、道路や公共施設などにおける段差の解消、子育て世帯にやさしいトイレや授乳室の整備などを行うとともに、情報提供に努めます。
- 「こども・子育て支援事業債」などを活用しつつ、こども・若者や子育てへの支援機能を強化するために行う施設整備や関連施設の環境改善を進め、安全安心な環境整備を行います。

雇用・就労について

創業にむけたスタートアップ支援や伴走的な支援があればよい。（若者）

子育て期（特にこどもが小さいとき）の就労に悩んでいる保護者が多い。（団体）

若者が地元で就職しやすい仕組みづくりが必要である。（団体）

町内における働く場を求める声や、仕事と子育ての両立に悩む声が挙げられています。町外での就労は、通勤時間が長く負担になることもあるため、町内における就労・雇用の促進、起業支援などに取り組み、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて進んでいくため、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】ワーク・ライフ・バランスの実現、雇用の創出・起業支援

計画書19ページ

- 各種セミナーや町内企業などで構成する産業ネットワークなどを通して、職場での子育て家庭への配慮、育児休業などの制度の周知を図ります。また、女性の再就職や起業などについて啓発を進めます。
- 人生の各段階に応じた多様な生き方、働き方が選択できるよう、職業生活と家庭生活の両立支援に向けて、事業所の事例紹介など、情報提供に努めます。

移住支援・広報について

子育て世代が移住しやすい環境を整えることと、魅力を周知すること。（保護者）

都会ではできない田舎ならではの子育てや生活ができることを発信したい。（若者）

町の支援・サポートに関する情報をもっと周知・広報していくことが必要。（団体）

移住促進に向けた環境整備のほか、情報発信や広報の重要性に関する声が挙げられました。こども・若者、子育て世帯に向けた魅力の増進を図っていくことと、京丹波町がもつ魅力の広報・発信に取り組んでいくことで、移住促進につなげていくために、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】移住したくなる魅力づくりと広報の充実

計画書19ページ

- 子育て家庭の移住先に京丹波町を選んでもらえるよう、移住支援施策の充実と情報提供に取り組みます。
- 町内外の皆さんに京丹波町の子育て環境やこども・若者支援施策についてよりよく知っていただくために、各種媒体やイベントなどでの情報発信に取り組めます。

主な意見内容（概要）

意見への対応・反映

安心・安全な地域づくりについて

見守りの人がいたり、いざというときに逃げ込める家があったりして安心。（小学生）

京丹波町は治安がいい。住んでいる人が優しい。（若者）

街灯がない場所や車通りが多い場所もある。ひとりで通学するのは不安。（保護者）

治安がよいことや、地域での見守りに安心できるという意見も挙がっていますが、通学時の不安に関する意見も挙がっています。安心・安全に過ごせるまちづくりを推進していくため、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】こどもを交通事故や犯罪から守る安心・安全な地域づくり

計画書22ページ

- こどもを犯罪や交通事故などから守るための施策を充実させることで、こどもに、こどもをもつ親に、みんなにやさしいまちづくりをめざします。
- こどもを交通事故から守るため、学校や地域、警察と連携した協力体制の強化を図るとともに、交通安全教育の徹底など総合的な交通事故防止対策を推進します。

地域全体での子育てについて

地域の人とかかわりを持てるようなイベントや会があるとよい。（小学生）

地域全体でこどものお祝いができたり、交流できる機会があれば、みんなで楽しめるし、こどもの心身にもよいと思う。（保護者）

こども・若者、子育て家庭をみんなで気にかけていくことが必要。（団体）

団体や支援機関同士の横のつながりも重要。顔つなぎや交流の機会づくりが必要。（団体）

地域におけるこども・若者、子育て世代とのかかわりの重要性に関する意見が挙がっているほか、こどもたち自身としても、地域の人とかかわりたいという意見も挙がっています。京丹波町の大きな魅力である「みんなで子育てをするまち」であることを、これからも実現・継続していくため、こども・若者みらい計画では以下の施策を進めます。

【施策】地域や団体、行政が連携する「みんなで子育てをするまち」づくり

計画書22ページ

- こどもを地域全体の宝物として、すべての大人が、地域の未来を担うこどもたちを常に見守り、正しい方向へ導くことに対する責任感をもてるように、家庭、地域、行政などを含め、みんなで子育てをするまちづくりをめざします。
- 「住民自治組織によるまちづくり」「協働のまちづくり」を推進し、地域における子育て支援ネットワークづくりをめざします。

その他の意見（こども・若者みらい計画への反映が難しかった意見）

| 主な意見内容（概要） | 意見への対応・反映 |
|--|--|
| 病院の診療時間の延長や病院の数を増やすなどの、医療の充実に関する意見 | 今回のこども・若者みらい計画では、実現・反映が難しく、計画には記載できていませんが、京丹波町がよりよいまちになっていくために、これからも引き続き対応について考え続けていきます。 |
| 駅がほしい・スクールバスを走らせてほしいなどの、交通利便性向上に関する意見 | |
| 商業施設（コンビニなど）・室内遊び場（アスレチックなど）の建設・整備に関する意見 | |
| 就業の場づくり・地域のにぎわいづくりにむけた企業誘致に関する意見 | |

